

第4回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

■開催日時・場所・出席者

日時 : 令和元年8月26日(月) 午後2時00分から午後4時00分まで

場所 : 鴨川市役所4F大会議室

出席者 : 以下のとおり

【出席委員】

| No. | 氏名 | 備考 |
|-----|--------|------------------------------|
| 1 | 鈴木 健史 | (一社) 鴨川市観光協会 会長 |
| 2 | 藤巻 武仁 | (一社) 鴨川市観光協会 副会長 |
| 3 | 久根崎 達郎 | 鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事 |
| 4 | 立野 健児 | 鴨川ライオンズクラブ若獅子支部 |
| 5 | 川井 幹雄 | 鴨川サーフィンクラブ 会長 |
| 6 | 村永 信吾 | 鴨川市健康づくり推進協議会 会長 |
| 7 | 渡辺 淳一 | 城西国際大学観光学部 教授 |
| 8 | 鈴木 淳 | 学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長 |
| 9 | 橋詰 良子 | 地域おこし協力隊 |
| 10 | 大内 洋 | 公募による市民 |
| 11 | 岡野 大和 | 公募による市民 |
| 12 | 川上 周一 | 公募による市民 |

【欠席委員】

| No. | 氏名 | 備考 |
|-----|-------|-----------|
| 1 | 徳山 英樹 | 鴨川市漁業協同組合 |

| | | |
|----|--------|-----------------------|
| | | 総務部長 |
| 2 | 原田 洋美 | NPO 法人鴨川ガイド協会 理事 |
| 3 | 中橋 健二 | 鴨川シーワールド 営業推進支配人 |
| 4 | 菅原 明善 | (一社) 鴨川市青年会議所 副理事長 |
| 5 | 内山 達也 | 城西国際大学観光学部 准教授 |
| 6 | 庄司 修 | 公募による市民 |
| 7 | 林 良樹 | 公募による市民 |
| 8 | 福田 雄一郎 | 鴨川市商工会 前青年部長 |
| 9 | 浅田 朋靖 | 鴨川市商工会 商工会青年部長 |
| 10 | 水谷 好伸 | 鴨川ライフセービングクラブ 会長 |

【業務委託請負業者】

| No. | 氏名 | 備考 |
|-----|--------|---|
| 1 | 刈込 信道 | 鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括 |
| 2 | 豊島 まゆみ | 豊島まゆみ事務所 代表 鴨川市プロジェクトマネージャー |
| 3 | 井上 裕史 | 株式会社 乃村工藝社 クリエイティブ本部 第三統括部 デザイン 7 部 R&D グループデザイナー |
| 4 | 小島 由光 | 株式会社スーパーソニック 代表取締役 |
| 5 | 牧本 達郎 | パースペクティブ合同会社 代表 |

【市行政関係者】

| 所属・職 | 氏名 | 備考 |
|------|----|----|
|------|----|----|

| | | |
|---------------------------------------|--------|-----|
| 鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長 | 佐久間 達也 | 事務局 |
| 鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐 | 小柴 則明 | 事務局 |
| 鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐 | 矢代 忠恭 | 事務局 |
| 鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長 | 影山 光一 | 事務局 |
| 鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 係 長 | 濱野 和明 | 事務局 |

■配布資料

- ①次第
- ②席次表
- ③プロジェクト概要書 ※豊島まゆみ事務所×乃村工藝社提供資料

■会議要旨

1 開会（午後2時00分）

2 委員長あいさつ

暑い中ご苦勞様です。前回の話を受けて、かなり具体的な検討に入っていくので、よろしくお願ひしたい。

※議事録署名委員に立野委員と川井委員を指名。

3 議事 ※進行：渡辺委員長。

○前回の振り返り（豊島まゆみ事務所）

- ・市民会館までの全体像を忘れずに進める。（初年度と2年目の方向性はぶれていない）
- ・今年度、予算がなくても次年度移行に繋がるようなエリア造りを検討する。民間が入りやすいエリア造りをする。また、次の予算、財源、資金も視野に入れるべき。
- ・誰がやるかについては、心が若くセンスがある人、将来の拡張性がある人を探す。

○進捗報告（豊島まゆみ事務所）

※資料に添って説明

- ・林委員の紹介にあったモンベルの情報を収集してきたので、後ほど提供する。
- ・候補者 ABC に会い、関係者との情報交換などを行った。これを共有しながら、受け入

れの方向で会議を進め、乃村工藝社にハード部分についてまとめてもらった。備品活用もあったが先々使えるような所も含め資料を作成してきた。

○乃村工藝社 井上氏により資料説明

・皆の意見を反映した資料を用意した。市長を含め関係者の意見を入れ再検討した。大きな構図は変わらない。

・タイニーエリアの魅力づくりという点で、ウェルネスビーチを設置する。

・中央ステージシアターは新要素となる。市長から話があったとおり、鴨川はイベント活発に実施しているので、イベントエリア機能を作った。音の関係から、ステージの方向を海側に向けるレイアウトとした。ただし、イベント規模により随時向きの変更は可能。

・マリンアクティビティ用の温水シャワーを設置する。

・形で見えるものをフェーズ1で行っていく（インフラ整備、ランドスケープ）。

段差、緩い斜面でビーチとフィッシャリーナがアクセスしやすくする。周辺とつながる後背地にしていく。

・フェーズ2として、シンボルゲート、サイン、インテリアガーデン設える。タイニーエリアには、キッチンカーによる飲食や、子連れの市民を対象にこどもの遊び場など。さらに、この要素が移動式にできないか考えた。

ビーチ要素として、老若男女、砂を活用したアクティビティ、体感を鍛えるようなヨガ、鴨川らしさとして砂に親しむ文化を育む要素などを足していきたい。芝斜面で寝転べるようにもしたい。

・建物エリア施設については、1Fにカフェ、サーフマリンアクティビティ、温水シャワー、更衣室

、事務室を想定している。ロングボードの収納機能を付ける。トイレは別の予算組みで考える。

ほかにもグランピングをバーベキューで活用したり、電気のインフラ整備も必要となる。

・模型を作ってきたので、動線を確認しながら雰囲気をつかんでほしい。

【意見交換】

▼井上

・コアエリアの建物については2階建て。デッキを設置する。熱くならないように砂鉄を抜いた白砂のビーチを隣接。ビーチスポーツも行えるが、親子で砂に親しめる、遊べるようなビーチにしたい。極力日陰をつくってあげたい。音による迷惑に配慮し、山が背景になるようなレイアウトとなっている。

▼林

・海の背景でないのがもったいない。

▼豊島

・イベントが盛んとのこと、ステージや客席スペースなどイベントをしたい人が使いや

すいインフラ整備を考えている。疲弊しないようなハード整備が必要と考える。

▼林

- ・ステージと施設の機能の合理性も考えてほしい。

▼豊島

- ・音響係は、メンテナンスが困難。従来の海岸だと機材に砂が入ってしまう。

▼井上

- ・建物については、ガラス張りで、ドリンクの購入ができ、たまり場的な場所を狙っている。

▼川井

- ・海がメインで見えないと意味がないと感じる。何をメインにするかだが、海がメインであれば、海をバックにすべきと考える。山でも悪くはないが、海の色と海岸線を魅せる方が良いと思う。

▼豊島

- ・近隣の騒音に関する情報は？

▼鈴木

- ・毎年、観光協会としては騒音に対する苦情に気をもんでいる。演奏に制限を設けてみたらよいのでは。例えば、棚田の夜祭で演奏されるような緩やかなメロディーに限るとか。

▼川上

- ・確認だが、ステージはメインではなく、あくまでもステージもできるという考えではないか。

▼鈴木

- ・お茶飲んで、ステージを楽しむような場所として、タイニーエリアにステージ機能を備えたらどうか。

▼井上

- ・タイニーエリアにステージという発想はおもしろい。コアエリアのデッキ部分を伸ばしていき、客席とステージを融合するのも良い。

▼林

- ・タイニーエリアは、奥に配置すればもっと広くスペースを確保できるのでは。砂については、飛散して近所に迷惑ならないか。

▼矢代

- ・今年の夏のイベントで、エナツのたたりがロックの演奏を行ったが、騒音に対する苦情は6件。

タイニーエリアに車両侵入はできるだろうから、小さなステージを設けることも有効。

▼豊島

- ・砂が飛ばないとは言えないが、去年までの皆さんの意見にあったビーチアクティヴィティを反映させたい。

▼鈴木

- ・段階的にこの客層のイメージをどう考えているか。

▼豊島

- ・対象は、地元 7 割、観光客 2 割、業者 1 割と考えている。
- ・鴨川の地元の人が海で遊んでいない。医療、福祉、観光業が多く、女性が多いという状況にあり住民視点から理解を促す。

▼鈴木

- ・残念なことに、飲食スペースのテーブル席数が少ない。デッキを大きくとって外の席数を増やすなど、工夫してみてもは。飲食スペースの拡充を図りたい。

▼渡辺

- ・いくつかのテーマがあるが、今回いろいろなことを決めきれだけの外部条件が定まっていない。

今後の可動性の余地を残し、柔軟に対応できる部材を基調とする。

- ・もう一点、建物は、来年度行うということになる。これをベースに来年度までに整備していく。願わくば、来年度の夏向けに機能が動き出すスケジュールがありがたい。
- ・鈴木委員から話があったとおり、事業展開について民間が参入してきた場合、そこが投資すること。当初のあるべき形に凝り固まらず、柔軟性と将来性を踏まえながら進めていく。

▼岡野

- ・ステージで何をやるかを考えておく。ロックをやるのか、クレームになりにくいハワイアンにするのか、整理整頓をする。山側、海側を可能とするリバーシブルな設計もあるのでは。

- ・砂浜を整備するのであれば、ビーチスポーツの将来的な可能性は残しておきたい。例えば最初はビーチバレーサイズ、いずれサッカーコートサイズへ。さまざまなスポーツの幅をもたせられる。

砂の上で子供たちにビーチサッカーを試みたが、表面温度は 60～70 度でできる状態ではなかった。

輸入の白い砂でなければならぬ。比重が重く飛びにくいはず（ケイ素）。砂の種類によっては猫がよりつかないのかも（根拠はない）。

▼井上

- ・リバーシブルステージは検討する。
- ・ビーチサッカーサイズの砂浜は、スペースを考えると、いずれ核となっていく市民会館跡地を含め考えた方が良くと思う。今回のビーチは、エンターテインメント性を考えて小規模でも住民が親しむ砂浜とし、良い位置にもっていきたいと考えている。
- ・マリンスポーツの件も、今回はフィッシャリーな側に整備するが、重いボードをもって移動することを考えると、行く行くは市民会館側にもっていきべきと考える。市民会館側

との役割付けがこの先何年後に検討するときがくると考えている。

▼矢代

・スケジュールに関して、9月中に設計の基本を作り、11月の頭の入札に間に合うように処理していきたい。安房土木から海岸保全区域となっている場所に、来年度以降ゲートを建てるのであれば、申請をした方が良いとのこと。

▼渡辺

・その方向で進めてもらいたい。

○モンベルについて 豊島まゆみ事務所説明

・モンベルについて、前回、藤巻委員からどこまでできるかとの話があったが、例えば、重点道の駅（国交省、農水省が認めるモデル的な道の駅）の可能性も探っていく。モンベルは山のイメージだが、林委員から情報いただいたモンベルに話を聞いてきた。

・モンベルは、モンベルクラブといった900,000人の会員がいる。モンベルフレンドエリア、情報提供や告知ができる。登録料が840,000円かかる。手続きに2カ月かかる。加盟については委員の皆様の意見を伺いたい。

・登録すると、会員向けの告知ツールで紹介される。アクティブな人に対して有効な情報発信が可能となる。次につながるような告知やファンへの広報をなどがあるとの紹介を受けた。即答はしなかった。

魅力があるが、毎年840,000円がかかるので、この場で皆さんにお諮りしながら進めていきたい。

▼渡辺

・エリアの一部分だけで利用するのではなく、鴨川全体を絡めていく必要があると考えるが、実際、担当者に来てもらい説明を受けたうえで年間会員になることも可能。“モンベルフレンドエリア”への参加は、今年と来年は予算の範囲で賄える。

▼川上

・加入している横芝光町でのメリットは？

▼豊島

・詳細は把握していない。市の担当に相談する。

▼鈴木

・加入はおもしろい。モンベルクラブには15億円入っている（年間100万人×1500円）。メンバー構成は半分以上が50代を占めている。そのうちシュリンク（衰退）してアクティブどころではなくなる。課題としては、若い人を確保していくことであり、鴨川がこの課題を解決できるといったことを条件に、84万円の会費を免除してもらおうといった交渉の余地もある。

・モンベルは、1,500円毎年払ってもらっているメンバーに対し、相当良いことをしていないといけないはず。一つでもおもしろい魅力のあるまちを引き込みたいと考えている

はず。2年くらい試行させてもらい、良ければ3年目から支払うようネゴできるのでは。

▼豊島

・関東7エリアでの展開は少ない。新たな展開の場を求めている可能性は大きい。モンベルで良いのかという点についてはどうか。ほかにもアイデアがあれば。

▼鈴木

・モンベルは引き込むべき。他の企業も参入のきっかけとなる。ブランドネームと付き合えるならつきあった方が良くと思う。

▼久根崎

・モンベルを巻き込む最大のメリットは？

▼豊島

・将来的には、市民会館も踏まえ、民間事業者参入支援といったところで、スポーツ関係での候補としては有効と考える。エリア内のショップの集客力が高まることが期待できる。84万円の対価があるかといえば迷うところである。

▼鈴木副委員長

・お客になりそうな関東エリアでみると320,000人である。送料が無料になるなど会員が得する内容が結構ある。例えば、鴨川の情報に反応する人間が20%だとすると64,000人となる。利用できるものなら、この際会員加入といった考えもある。

▼渡辺委員長

豊島さんには、引き続き情報収集等をお願いしたい。

○文理開成の貸しオフィスについて

▼豊島

・川上委員に手伝ってもらい、カッコいい部屋ができた。エアコンは入っていない。・ネット環境に関しNTTとの契約手続きが残っている。

・出入口管理が整えば稼働が可能となる。稼働後は、週2日くらいで、前回提案したABC氏に入ってもらいように調整している。9月くらいから使用が開始できると良い。

▼渡辺委員長

・是非早い段階で会議をそこで開催し、意識付けをしたい。

▼小柴

・備品の関係、スポーツコミッションが立ち上がった関係で、プラットフォームとの連携が可能となった。サーフィングッズについて後日確認をする。サーフィン教室で活用されるので報告まで。

○その他

▼佐久間

・市民会館周辺跡地利用に関し、市長は、早期取り壊しについて調整するとしている。この会議で跡地構想も併せて検討いただけるとありがたい。エリアマネジメントセンターは市民会館跡地でなんとか整備したいという考えをもっている。

次回は、9月30日(月) 14:00から開催予定。

4 閉会 (午後4時00分)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の内容について確認します。

令和元年8月29日

立野 健児

川井 幹雄